

『ピピ文庫』の
上田さんに聞きました

絵本を声にして 手渡すことのすすめ!!

♥乳幼児は、成長・発達段階にふさわしい絵本に出会うと強い興味・関心を示します。そのような環境と機会をつくって、身近な大人と時間を共有し、共感しあう体験を大切にしたいものです。

♥読み聞かせは、声を使ったスキンシップであり、「人の話を聞く」習慣や態度を身につけていくことにもつながると考えています。

♥ことばは「伝達の道具」であり、かつ「考える道具」ですから、「ことばを耳からしっかり聞く」ということを大事にしたいと思います。ことばを「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」のベースになるからです。

♥絵本には、直接体験できないことを想像したり、新たな創造力を触発する知恵がつまっています。読み聞かせることで絵本をことばにして手渡し、心の栄養としてプレゼントしたいものです。

子どもは自分から本に出合えません。身近な大人が成長段階に見合った絵本に出会う機会を作ることが大切。少しの時間でも、読み聞かせを毎日の習慣にしたいですね。



上田正一さん：1984年より自宅に家庭文庫『ピピ文庫』を開設。約2万冊の蔵書の貸出しを行っているほか、文庫をはじめ保育園や幼稚園、小学校などで30年以上にわたり読み聞かせ活動を実践しています。苫小牧市立中央図書館元館長。錦岡保育園園長。

※上田さんおすすめ絵本を、裏面に紹介したもののほか、生涯学習課HPに掲載しています。右のQRコードから確認できます→



図書館へ行ってみよう!



【本を借りてみよう!】

お気に入りの1冊を選ぶことができます。また、いろいろな本を見ることで、興味が広がります。貸出の手続きなどで、子どもの社会性を育む機会にもなります。



【おはなし会に参加してみよう!】

いろいろなお話の世界に出会うことができます。図書館やコミセンほか市内で読み聞かせイベントがあります。(開催場所や時間は中央図書館HPの「よみかかせまつり」に掲載)



【中央図書館のごあんない】

公園に隣接し、サンガーデンを併設した自然豊かな環境にあります。児童図書コーナーには、靴を脱いでゆったり過ごせる赤ちゃんコーナーをはじめ、授乳コーナーやおむつ替えシートなど、お子さんと一緒に利用できる設備があります。みなさんでぜひご利用ください。



苫小牧市末広町3丁目1番15号
☎0144-35-0511 ホームページはこちらから→



苫小牧市教育委員会生涯学習課
苫小牧市旭町4丁目4番9号
0144-32-6756

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kyoiku/shogaigakushu/>

おうちで
やってみよう

家 読

うちどく!



うちどくってなに?



おうちで家族が絵本などを読み聞かせること、「うちどく」の体験を通して本に親しむ気持ちが育まれます。読書に対する興味や関心を高める「うちどく」をはじめてみませんか?



まんがの中で紹介した本

*「おとうさんはウルトラマン」学研 対象年齢：3歳～
・「フェリーターミナルのいちにち」福音館書店 4歳～
・「リゆうがあります」PHP 4歳～